

## 2. まちの将来像

### 自然に抱かれた多様性・創造性で 未来が輝くまち とよの

本町では、大阪府の中でも特に豊かな自然に囲まれている一方で、阪神地域や大阪市のベッドタウンとして住宅街の一面もある、住み良いまちです。これまでは、その良さに磨きをかけるための施策に取り組み、東西の両地区がそれぞれの魅力を持っている、二極化したまちとして発展してきました。

しかし、現在の本町は東西両地区それぞれがありふれた農村と住宅街として佇んでおり、他の町村と比べて個性に欠けていると考えられます。特に、近年は高齢化と人口減少が進んでおり、このままではまちの活気が失われ、時代に取り残されていく可能性が高いと予想されます。

これからは、東西それぞれが作り上げてきた魅力を融合させ、農村と住宅街から生み出される多様性と創造性を大切にした「新しい豊能町らしさ」を作り上げ、その魅力に溢れるまちづくりに取り組んでいくことで、他地域にはない新たな価値を創出し、持続可能な地域づくりを目指していきます。